

和歌山

あなたと

県

をつなぐ広報紙

県民の友

9

No.985

令和2年

[2020]

月号

県政最前線

大災害から命を守る

防災のすすめ

津波からの避難訓練を行う新堀こども園の園児たち(和歌山市)

まず、津波による災害の危険から逃れるために、緊急避難場所へ避難してください。

まずは避難場所に避難しましょう

※津波浸水想定や避難場所安全レベルは、市町村にお問い合わせいただくか、県WEBサイトをご覧ください。

和歌山県津波浸水想定

和歌山県避難場所

避難場所安全レベルの設定

レベル1 ★ レベル2 ★★ レベル3 ★★★

津波避難ビル等 裏山・高台 避難路

津波浸水想定地域

レベル3 ★★★

浸水の危険性がない地域で、より標高が高くより離れた安全な場所を指定

レベル2 ★★

浸水想定近接地域で、「レベル3」へ避難する余裕がない場合の避難場所として指定

レベル1 ★

浸水の危険性がある地域で、時間的に「レベル2・3」へ避難する余裕がない場合の避難場所として指定

チェック

津波避難3原則

① 想定にとられない

② 最善を尽くせ

③ 率先避難者になれ

津波の正しい知識をもちましょう

- 津波は繰り返しやってくる。第一波が最大とは限らない。(第一波が小さくても油断しない、引いても戻らない。)
- 津波は引き波から始まるとは限らない。
- 30 cm の津波でもまきこまれるおそれがある。
- 弱い地震でも大きな津波を引き起こすことがある。
- ゆったりとした長い揺れが続く場合は津波を引き起こす海溝型地震の可能性を考え、避難する。(東日本大震災では3分以上も揺れが続いた地域もある。)

その後、まだ避難が必要な場合は、避難所に避難しましょう

一定期間の避難生活が必要な場合には、避難所で避難生活を送っていただくことになります。

避難所での感染症対策

避難所では、新型コロナウイルス感染症の予防や拡大防止対策を徹底しています。

感染症対策の一例

- 避難の受付時や避難生活においても、体調・体温チェックを行い、発熱や咳など、感染症の疑いのある症状がある方には、個室に移動していただくようにしています。
- 避難所内では、十分に換気を行い、避難世帯ごとに間隔を2 m (少なくとも1 m) 確保し、パーティションで間仕切りをするようにしています。
- 非常持出品の中にマスク、消毒液、体温計など感染症対策用品を加えておいてください。

県や市町村では、感染症対策の資機材について緊急整備を行っていますので、安心して避難所へ避難してください。

避難場所… 一時的に避難する場所(避難タワーや高台など)
避難所… 一定期間避難生活する場所(小学校の体育館や公民館など)

県政最前線

大災害から命を守る

防災のすすめ

南海トラフ沿いの3つの領域(東海・東南海・南海)では、これまで約90〜150年周期で津波を伴う地震が発生しており、県内でも大きな被害を受けてきました。

県では、「災害による犠牲者ゼロ」の実現に向けて、「津波から逃げ切る!」支援対策プログラム」に基づく津波対策や住宅の耐震化、災害に関する情報の発信などさまざまな防災対策を進めています。

一方、ここ数年の台風や豪雨災害などの風水害は、かつてないほどの甚大な被害をもたらしています。

県民の皆さんも、災害が発生した際の避難行動について日頃から考え、ハザードマップを確認するなど、災害に備えましょう。

また、災害が発生または発生しそうな場合には、その災害から自分の命を守ることを最優先に、新型コロナウイルス感染症の感染リスクの有無にかかわらず、躊躇なく避難しましょう。

問

県庁危機管理・消防課

073-441-2260

県庁防災企画課

073-441-2271

津波から命を守る

津波から逃げ切る! 支援対策プログラム

県では、津波到達時間や避難開始時間・移動速度を考慮して、津波が到達するまでに安全な場所に逃げ切ることができない「津波避難困難地域」を抽出しました。

まず、発生頻度が高い東海・東南海・南海3連動地震への対策を最優先とし、避難経路の設定、避難施設の整備、堤防・護岸の整備などをを行い、令和6年度までに津波避難困難地域の解消をめざします。

また、3連動地震の津波対策では解消できない南海トラフ巨大地震での津波避難困難地域については、高台移転などの地域改造も含め、地元の方と対策の協議をしていきます。

約90〜150年周期で津波を伴う地震が発生

南海トラフ巨大地震の震源域

東海地震 東南海地震 南海地震

30年以内のマグニチュード8〜9クラスの地震発生確率 70~80%

想定地震規模	南海トラフ巨大地震 (理論最大規模) マグニチュード 9.1	東海・東南海・南海3連動地震 (過去最大規模) マグニチュード 8.7
最大津波高	8~19m	5~10m
最短津波到達時間	津波高1m: 3分	第一波最大津波: 5分
津波避難困難地域	12市町61地区	4町22地区

地震から命を守る

住宅耐震化

南海トラフで起こる地震は震源域が紀伊半島の直下で発生する可能性もあり、非常に強い揺れとなることが予想されます。住宅等の倒壊による被害から命を守るためには住宅の耐震化や家具固定などの室内対策が重要となります。

県では、補強設計と改修工事をセットにした定額補助などにより、住宅の耐震

化を支援しています。

しかし、県内の住宅耐震化率はまだ79%に留まっており、目標としている「令和8年度までに耐震化率100%」を達成するには、さらなる耐震化が必要です。

引き続き、住宅の耐震化や家具の固定など、地震に備えた対策をお願いします。

（住宅耐震化の対象は昭和56年5月以前に建築された住宅です。市町村によっては、木造住宅は平成12年5月以前に建築されたもの）

耐震ベッド・耐震シェルター

住宅の耐震より安価で、寝床や居住スペースの安全が確保できる、耐震ベッドや耐震シェルターの設置費用を補助しています。

家具固定

県庁防災企画課

073-441-2271

L型金具などによる家具の固定や、家具の置き方を工夫することで家具の転倒時の被害を軽減しましょう。

また、県では家具固定施工業者登録制度を設けています。施工業者をお探しの際には「ご利用ください」。

市町村によっては、家具固定に係る費用の補助制度を設けていますので、詳しくは市町村担当課へお問い合わせください。

ブロック塀の安全対策

熊本地震や大阪府北部の地震では、ブロック塀が倒壊するなどの被害が発生しています。基準を満たさないブロック塀や老朽化したブロック塀は、倒壊により人的被害や避難路の寸断が発生する恐れがあり大変危険です。

県では、建築士関係団体の協力により、地域毎にブロック塀の安全性に関する相談員を配置し、名簿を県庁建築住宅課のWEBサイトに掲載しています。改修方法などに関する相談に对应いただけますので、ぜひ活用してください。

また、市町村によっては、ブロック塀の撤去や補強に係る費用の補助制度を設けていますので、詳しくは市町村担当課にお問い合わせください。

● 補助率と補助額

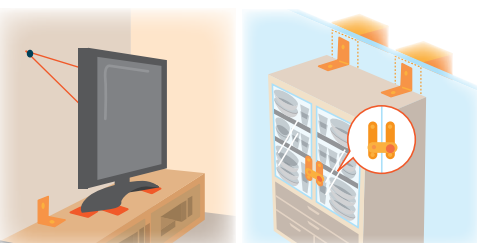
● 設置費用の3分の2

● 補助限度額 26万6千円



対象

- 耐震診断の結果、耐震性を有しないと判断された木造住宅
- 申請者多数の場合は高齢者、障害者を優先



耐震診断

【木造住宅】住宅耐震診断士による診断が**無料**

【非木造住宅】耐震診断費の2/3を補助

補助限度額8万9千円

設計と改修工事を一体的に支援

耐震補強設計 + 耐震改修

最大 116万6千円の補助

県・市町村 定額補助66万6千円 + 国 耐震改修費の40%を補助 補助限度額50万円

※定額補助 補助対象経費（設計費、工事費）の額に関わらず、一定金額を補助対象経費の範囲で交付

例 補強設計15万円、耐震改修85万円の場合

	経費	補助金等	自己負担
補強設計 + 耐震改修	100万円	100万円	0万円

空き家の耐震化について

普段は人が住んでいない空き家も、地震による倒壊により隣家に被害を与えたり、避難路を塞いだりする恐れがあります。空き家についても一定の条件を満たせば、耐震改修の補助を受けられます。

県では定期的に無料の相談会を開催していますので、お気軽にご相談ください。

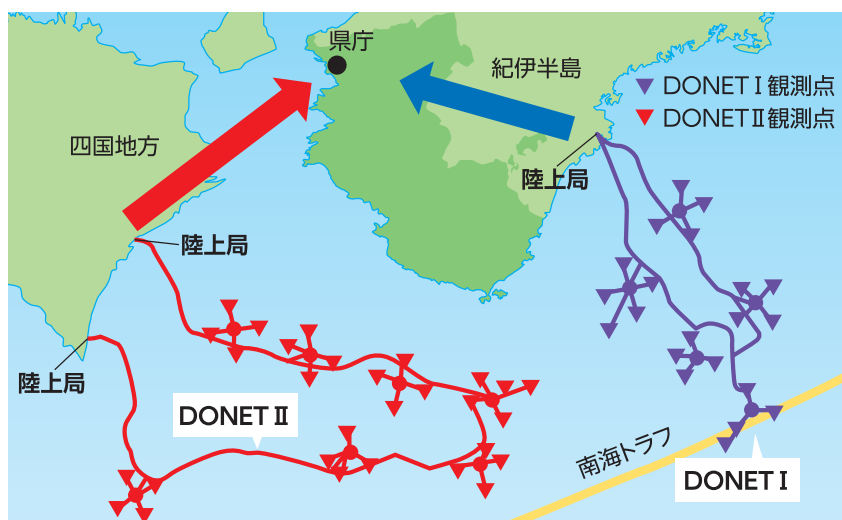
情報

地震・津波観測情報

県庁防災企画課

073-441-2271

防災科学技術研究所（NIED）が運用する紀伊半島沖合の海底に設置している地震・津波観測監視システム（DONET）の観測情報をリアルタイムに入手できる体制を整えています。津波の規模や到達予測をいち早く把握し、避難のための情報を提供します。



日頃からの備え

非常持出品

避難するときにまず持ち出すべきものとして、避難バッグにひとまとめにし、すぐに持ち出せるよう置き場所を決めましょう。



非常備蓄品

救援活動が受けられるまでの間に必要な1週間分程度の水や食料などを、家屋が被災しても取り出せる場所に保管しましょう。

学んで備える

出張！減災教室

県庁危機管理・消防課 073-441-2260

「出張！減災教室」では家庭や地域での防災意識を高めるため、地震体験車による地震体験や、避難所運営を体験できるゲーム、家具固定や住宅耐震化に関する実演・講座を実施しています。

学校の防災・減災教育、自治会や企業の研修などにご利用ください。



和歌浦地区防災会 事業局長 植田 龍彦さん



和歌浦地区防災会では、総合的な防災訓練や避難所の運営訓練などを行っています。避難訓練は毎年必ず行っており、市職員を講師に迎えて講演会を開いたり、煙からの避難体験などを地区住民とともに行ってきます。

また、各自治会で、それぞれの地域の防災に関する弱いところを日頃から点検するよう啓発をしています。

今後は、子供たちの防災意識を高める活動にも取り組んでいきたいと思っています。



災害発生時に備えた備品を点検する様子

停電・電気の事故を防ぐ！

台風が来る前に物が飛ばされないように移動・固定させましょう。

地震が起こった時にコンセントからプラグを抜き、避難時はブレーカーを切りましょう。

台風や地震のあとに

水に浸った電気器具は使わないようにしましょう。また、切れた電線には触らないようにしましょう。

風水害から

いのち
まも
命を守る

近年、全国的に集中豪雨が頻発し、河川の氾濫や土砂崩れなどの大きな災害が発生しています。本県でも平成23年の「紀伊半島大水害」など、台風や集中豪雨による土砂災害、浸水被害が発生しています。

そこで、安全な避難場所を確保するため、地形等による土砂災害や浸水被害の可能性、施設の構造などを考慮した安全レベルを設定しています。

本来は、より安全レベルの高い避難場所に避難することが大切ですが、場合によっては、最寄りの避難場所より同等以上の安全レベルであれば自宅の二階などへの垂直避難も選択肢の一つとなりますので、状況に応じて行動してください。避難場所の安全レベルは、市町村ハザードマップや「和歌山県防災ナビ」アプリで確認できます。

地震・津波だけでなく風水害についても避難場所の安全レベルを設定しています

時間が許す限り、より安全な避難場所をめざして避難しましょう。

避難場所★★★

土砂災害や浸水が発生した場合でも十分に安全な避難場所

避難場所★★

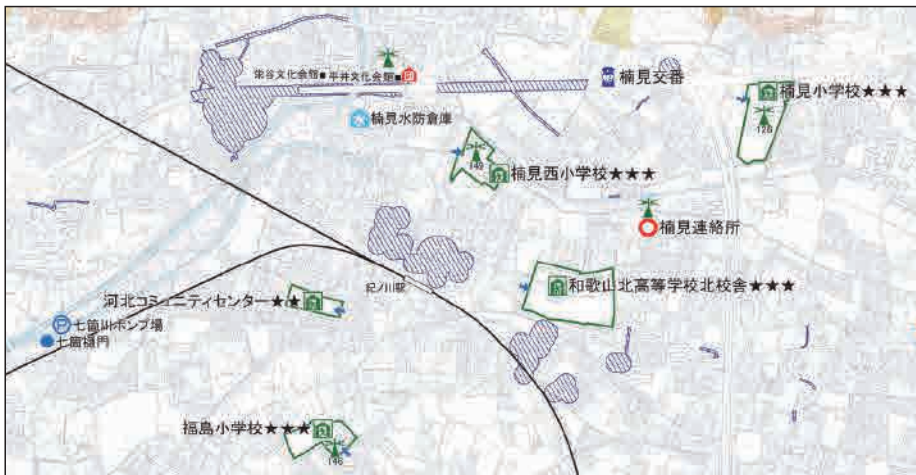
土砂災害や浸水が発生した場合でも定の安全を確保することが可能である避難場所

避難場所★

大規模災害等が想定される場合には事前に開設しないか、開設した場合でも、危険が迫った場合には閉鎖の可能性がある避難場所

避難場所★(注)

大規模災害等が想定される場合には事前に開設しないか、開設した場合でも、危険が迫った場合には閉鎖の可能性がより高い避難場所



各避難場所の安全レベルの表記がわかる市町村ハザードマップ

早期復旧に関する協定 (関西電力、N・T・西日本)

問 県庁災害対策課 ☎073・441・2261
県庁情報政策課 ☎073・441・2405
県庁道路保全課 ☎073・441・3110

記録的な暴風となった平成30年9月の台風第21号では、倒木や土砂崩れなどにより大規模な停電や通信障害が発生し、長期間にわたって生活に混乱が生じることとなりました。

復旧までに時間を要したことを受け、県では、関西電力(株)、西日本電信電話(株)それぞれと停電や通信障害の復旧作業に関する協定を昨年4月に締結しました。

今後、大規模な停電・通信障害が発生した場合には、県が両社の要請に基づき復旧作業の支障となる倒木・土砂などの除去作業を支援することで、より迅速な復旧につなげます。

関西電力の停電情報がWEBサイトやスマートフォンのアプリで確認できます。

関西停電情報

自動車メーカー・ 販売会社との協定(日産・三菱)

問 県庁災害対策課 ☎073・441・2262

県内において大規模災害による被害が発生し、または発生するおそれがある場合に、円滑な災害応急対策を実施するための電動車両などの貸与に係る協定を締結しました。

じょうほう

情報を得る

県ではさまざまな方法で、県民の皆さんに防災情報を発信しています。災害に備えて、これらの情報を利用しましょう。

市町村が発令する 避難情報を確認！

県では、風水害から命を守るため、市町村が避難勧告などの避難情報を発令する際の判断を早期かつ的確に実施できるように、平成24年に「避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成のモデル基準」を策定しました。この基準は、市町村の避難勧告などの発令に遅れが生じないように、市町村が判断しやすく実用性の高いものとしています。

また、県では、最大51時間先までの降水予測を行う独自の気象予測システムを整備しています。これらをもとに市町村では的確な避難情報の発令判断に役立てていますので、市町村から避難勧告などの避難情報が発令された時は、適切な避難行動をとってください。

河川・土砂災害の情報

県では、河川の水位やダムの情報、土砂災害に関する情報を、県WEBサイト、テレビ和歌山やNHK総合のデータ放送で提供しています。早めの避難判断に、防災情報を有効に利用しましょう。

- ダムの放流量などの情報
- 雨量・土砂災害警戒情報
- 河川の水位情報やカメラ映像

和歌山県河川雨量防災情報



PC・モバイル
端末



携帯端末

テレビ和歌山

NHK総合



データ放送はリモコンのd(データ)ボタンを押すと視聴できます。

防災わかやまTwitter

拡散性や即時性が高いTwitterにより災害情報などを発信していますのでフォローをお願いします。



防災・減災FMラジオ

大規模災害発生時に県から県内情報に特化した放送を行うため、県内6カ所にFM中継局を整備し、FM放送ネットワークを構築しています。



アプリの機能例

近くの避難先を検索できます

- 避難場所の安全レベルを確認できます。
- 避難場所までの最短ルートを地図上に表示できます。
- 避難途中にルートを変更した場合も、正しいルートに誘導してくれます。

防災情報をお知らせします

家族などの居場所を確認できます

日頃からの避難トレーニングが行えます

河川水位情報を確認 できます

土砂災害危険度 情報を確認できます



けいさい

掲載のイベントについては、時節柄、中止や延期になる

ばあい

場合があります。詳しくは主催者にお問い合わせください。

けんなんびようこ

ほけんそうだんしえん

県難病・子ども保健相談支援センターからのお知らせ

①難病患者の就労・年金・療養相談会
時・場：(1)9月16日(水)和歌山市中央コミュニティセンター(2)10月16日(金)橋本保健所 いずれも13:30～16:30
対・定：患者、家族 15人 先着順
申・問：電話、FAXで住所、氏名、電話(FAX)番号、希望日、相談内容を(1)9月11日(2)10月9日までに問合先
②難病患者就職サポーター出張相談会
時：毎月第1火曜(11月のみ第2火曜)(1)13:30～14:30 (2)14:45～15:45
場：*県難病・子ども保健相談支援センター(和歌山市)
対：難病患者、家族、事業主など
定：各回2組 先着順
申：電話、FAXで住所、氏名、電話番号、参加人数、相談内容を各回4日前までに問合先
①②共通
問：県難病・子ども保健相談支援センター
☎073-445-0520 FAX073-445-0603
※①手話通訳・要約筆記は要予約

せんざいかんごしよくふくしよくしえんけんしゅう

潜在看護職復職支援研修

講義・演習・臨地実習
時：10月6日(火)～9日(金)・12日(月)・13日(火)
場：情報交流センターBig・U(田辺市)、県内病院など
対・定：看護職の有資格者で現在就業していない方 20人 先着順
申・問：郵送、電話、FAX、Eメールで所定の申込書(申込先で配布)を9月28日までに県ナースセンター
〒642-0017海南市南赤坂17
☎073-483-0234、073-483-1005 FAX073-483-1266
✉riji@wakayama-kangokyokai.or.jp
和歌山県看護協会
※一時保育は要予約

ごううさいがいぎえんきん

令和2年7月豪雨災害義援金

県では、被災された方々を支援するため、義援金を10月30日まで受け付けています。
義援金振込先
①金融機関：紀陽銀行 県庁支店
口座番号：(普)414000
②金融機関：きのくに信用金庫 本店営業部
口座番号：(普)2669693
③金融機関：和歌山県信用農業協同組合連合会 本所
口座番号：(普)8005
口座名義：①～③共通
令和2年7月豪雨災害義援金
問：県庁福祉保健総務課

なんちようしゃ

難聴者サロン

時：毎月1回月曜 13:30～
※開催日は要問合せ
場：和歌山ビッグ愛(和歌山市)
対：県内在住の難聴者の方
定：20人 先着順
問：県聴覚障害者情報センター
☎073-421-6311 FAX073-421-6411
✉w.d.center@watyosyokyo.or.jp
和歌山県聴覚障害者情報センター

にんちしょうしつかんりりょう

認知症疾患医療センター

しみんこうかいこうざ

市民公開講座

認知症の心や行動の症状(BPSD)とケアについての講演
時：10月10日(土) 15:00～17:00
場：県立医大講堂(和歌山市)
定：250人 抽選
申・問：電話、FAX、Eメールで所定の申込書(申込先、WEBサイトで配布)を10月2日までに県立医大病院認知症疾患医療センター
☎073-441-0776 FAX073-441-0515
✉dementia@wakayama-med.ac.jp
和歌山県立医大病院
※要約筆記は要予約



県庁・県教育庁

☎073-432-4111(代表)
〒640-8585 ○○○課あて
(県庁の住所記入不要)
和歌山県のWEBサイトは
<https://www.pref.wakayama.lg.jp/>

各振興局代表電話

海 草	県庁代表と同じ
健康福祉部	☎073-482-0600
建設部	☎073-488-7876
那 賀	☎0736-63-0100
伊 都	☎0736-34-1700
健康福祉部	☎0736-42-3210
有 田	☎0737-63-4111
日 高	☎0738-22-3111
健康福祉部	☎0738-22-3481
西牟婁	☎0739-22-1200
東牟婁	☎0735-22-8551
健康福祉部 串本支所	☎0735-72-0525
串本建設部	☎0735-62-0755

時…期日・時間 場…場所・会場
対…対象・資格 定…定員 費…費用
申…申込・応募方法 問…問合せ
✉…Eメール
QRコード…県WEBサイトへリンク
🔍…WEBサイトを検索
*は県庁の敷地内にはありません

じちいかだいがくいがくぶせつめいかい

自治医科大学医学部説明会

大学の特色、教育内容、入試概要の説明
時：9月27日(日) 14:00～16:00
場：県民文化会館(和歌山市)
対・定：進学希望者、保護者、進路指導教員など 30人 先着順
申・問：郵送、FAX、Eメールで所定の申込書(WEBサイトで配布)を9月18日までに県庁医務課
FAX073-424-0425
✉w-doctor@pref.wakayama.lg.jp

しんがた

新型

かんせんしょう

感染症

たいさく

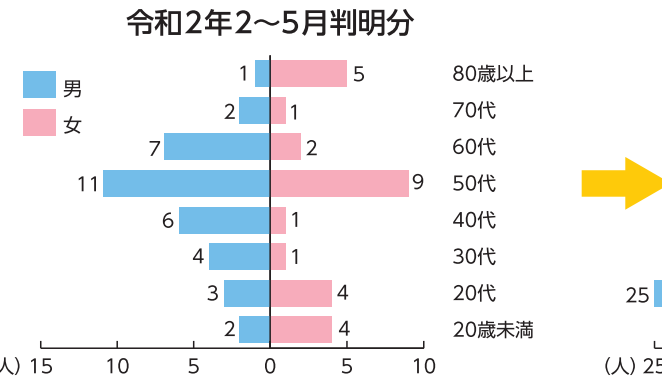
対策

について

(令和2年8月4日時点の情報に基づき作成しています。)

感染拡大防止への取組

県内で初めて感染が確認された令和2年2月13日以降の第一波の感染は、保健医療行政の努力と県民の皆さんの努力もあって抑えることができました。しかし、7月以

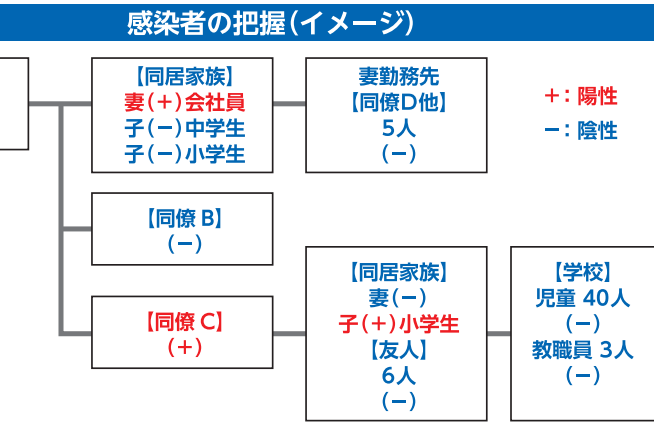
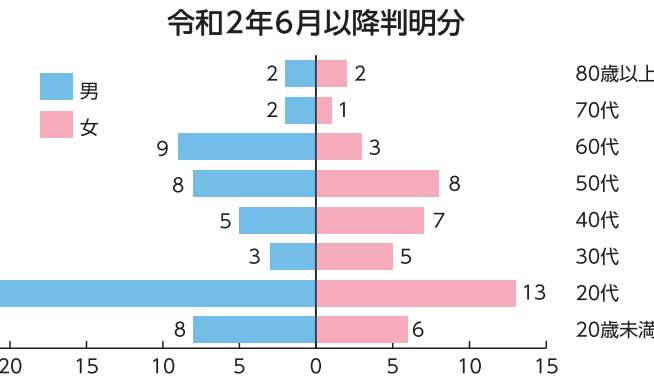


県では、感染が確認された場合には、同居家族や同僚など濃厚接触者の検査を行い、そこで陽性が確認されれば、さらにその濃厚接触者の検査を行うことを繰り返すことで、最終的に濃厚接触者の陰性を確認し、陽性者を囲い込むことにより、感染拡大の防止に努めています。
感染拡大の防止には感染経路を特定することが必要なので、感染が判明したときは行動履歴調査にご協力をお願いします。

安全な生活・外出・営業のお願い

- 新型コロナウイルスへの感染を心配しすぎると、経済へ悪影響が出たり心が疲弊してしまいます。感染予防に取り組みつつ、経済活動を維持していく必要があるため、県民の皆さんや事業者の皆さんは、次の点にご留意ください。
- 大阪や首都圏などでの会食が感染経路と推測される事例が増えています。感染が拡大している地域での宴会や会食は控えてください。
特に若い世代においては、友人・知人同士での会食や、そのあと友人宅等に宿泊するような、夜を徹した行動で感染したと考えられる事例が見受けられます。そのため、長時間盛り上がるような会食や、その後に友人・知人の家で宿泊することは控えてください。

降のここ1カ月で第一波を上回る感染者が発生してきており、特に20代の若者が大阪などでの会食により感染し、県内に持ち込まれたと考えられる事例が増加しています。



- 通学前・出勤前には必ず検温し、発熱等があれば、絶対に通学・出勤はしないで、クリニックを受診してください。
- 病院や福祉施設等、集団生活を行っている施設については、職員の感染防止対策と健康観察を徹底してください。
- 県では、県内各業界における感染拡大予防ガイドラインの遵守の状況について、遵守依頼の意味も兼ねて調査を行っています。各事業所においては、ガイドラインを守って安全な営業をお願いします。
- 濃厚接触者の方で、陰性の結果が出た数日後に発熱し、陽性となった事例があります。濃厚接触者の方は陰性でも2週間は経過観察が必要なので、注意してください。

健康相談窓口

専用ダイヤルを開設していますので、健康に不安がある方はご相談ください。

専用ダイヤル

☎073-441-2170 FAX073-431-1800
受付時間 9:00～21:00(土日祝含む)

職業訓練指導員採用

試験区分: 理容科
時: 【一次】11月8日(日) 【二次】12月6日(日)
場: 和歌山産業技術専門学院(和歌山市)
採用予定人数: 1人程度 **選考**
受験資格: 理容師免許取得者で職業訓練指導員の免許を取得または取得見込みの昭和56年4月2日以降に生まれた方
勤務地: 和歌山市
願書配布: 申込先、県人事委員会事務局、振興局総務県民課、会場
申・問: 郵送、持参で10月21日までに県庁労働政策課
※詳しくは試験案内を要確認



採石業務管理者

時: 10月9日(金) 10:00～12:00
場: *県自治会館(和歌山市)
費: 8,000円(受験手数料)
願書配布: 申込先、振興局建設部
申・問: 郵送で9月14日までに県庁砂防課



白崎青少年の家

〒649-1123 由良町大引961-1
☎0738-65-2351 FAX0738-65-2352
ちよっぴりコワハロウィン
仮装パーティー、ハロウィンクラブなど
時: 10月24日(土)～25日(日) 1泊2日
対: 小学4年生以上または家族
定: 50人 **先着順**
費: 4,600～5,440円/人
申: 10月10日まで

※申し込みには、参加者全員の住所、氏名、年齢(学年)、電話番号などが必要です。
Eメール、FAXで申し込まれた場合は電話で確認してください。
詳しくは各施設へ

〇〇青少年の家

試験

障害者を対象とした職員採用

時: 11月1日(日)
場: 和歌山商工会議所(和歌山市)
試験区分・採用予定人数: 一般事務3人程度、学校事務1人程度、警察事務1人程度 **選考**
※受験資格など詳しくは試験案内またはWEBサイトを要確認
願書配布: 申込先、県パスポートセンター、振興局総務県民課など
申・問: 郵送、インターネット、持参で9月4～25日に県人事委員会事務局
※点字受験・手話通訳・要約筆記は要予約



子供・若者育成支援県民大会

青少年健全育成成功労者・団体への表彰、講演など
時: 10月24日(土) 13:00～14:30
場: 紀の川市役所南別館「ホール田園」
定: 100人 **先着順**
問: 県庁青少年・男女共同参画課
※手話通訳・要約筆記あり



潮岬青少年の家

〒649-3502 串本町潮岬669
☎0735-62-6045 FAX0735-62-0182
ハロウィンパーティー
クラフト作り、クッキングなど
時: 10月24日(土)～25日(日) 1泊2日
対: 小学4年～中学3年生
定・費: 30人 **先着順** 5,000円/人
申: 9月23日～10月9日



役務の提供等の契約に係る競争入札参加資格審査申請

県が発注する役務等の業務(建設工事に関するものは除く)に係る入札参加資格申請の受付
※現在資格を持つ方も申請が必要
対象業種例: 建築物の保守管理、警備、情報処理、検査・調査研究など
申: 郵送で10月1～31日に県庁管財課、情報政策課、森林整備課、総務事務集中課
問: 県庁総務事務集中課



北方領土に関する標語・キャッチコピー

募集期間: 9月30日まで
申・問: 郵送、FAX、Eメール、インターネットで応募用紙(WEBサイトで配布)を(株)公募ガイド社 〒105-0011東京都港区芝公園1-8-21 5階
☎03-5405-2062 FAX03-5405-2061
✉ hoku@koubo.co.jp



わかやま就職フェア2020

時: 10月5日(月) 13:00～16:00
場: 和歌山ビッグ愛(和歌山市)
対: 一般求職者、令和3年3月卒業予定の大学・短大・専門学校生など
問: 県庁労働政策課
UIわかやま就職ガイド
※手話通訳は要予約

トランポリンサークル

時: 9月13・27日、10月4日、12月6・13・20日、令和3年1月31日、2月7・14日、3月7日 いずれも日曜10:30～11:45(全10回)
場: 県立橋本体育館(橋本市)
対: 4歳以上
定: 15人 **先着順** ※当日参加5人まで可
費: 5,230円(全10回分)
申・問: 持参で所定の申込書(申込先で配布)と参加費を会場
橋本市北馬場455 ☎0736-32-9660
和歌山県立橋本体育館
※当日参加費用など詳しくは要問合せ

俳句で広げる人権意識

「気づき」をテーマにした俳句を募集
対: 県内在住・在勤・在学の方
申・問: 郵送、FAX、Eメールで所定の応募用紙(申込先、WEBサイトで配布)を10月2日までに海草振興局総務県民課
☎073-441-3352 FAX073-423-9269
✉ e1301111@pref.wakayama.lg.jp



生活教養講座

今話題の生活情報や消費者トラブル未然防止のための知識など
時: 10月7～28日の水曜(全4回) いずれも13:30～15:00
場: 和歌山ビッグ愛(和歌山市)
定: 各20人 **先着順**
申・問: 郵送、電話、FAXで住所、氏名、電話番号、受講希望講座を9月25日までに県消費生活センター 〒640-8319和歌山市手平2-1-2和歌山ビッグ愛8階
☎073-433-1551 FAX073-433-3904



語り合い広場

①市場恵子さんの“りいぶる”やさしいジェンダー講座(全2回)
時: 10月3・17日 いずれも土曜13:30～15:30
場: 県男女共同参画センター(和歌山市)
定: 各30人 **先着順**
②・助産師さんと考えよう・子供への性と命のつたえ方
時: 10月4日(日) 13:30～16:00
場: 海南nobinos(海南市)
定: 20人 **先着順**
①②共通
申・問: 郵送、電話、FAX、Eメール、インターネット、来所で住所、氏名、電話番号を(一時保育希望者は9月20日までに)県男女共同参画センター 〒640-8319和歌山市手平2-1-2和歌山ビッグ愛9階
☎073-435-5245 FAX073-435-5247
✉ libre@sirius.ocn.ne.jp



人権教室・パラスポーツボッチャにチャレンジ

時: 10月3日(土) 13:00～15:00
場: 和歌山ビッグウエーブ(和歌山市)
定: 40人 **先着順**
申・問: 郵送、電話、FAX、Eメールで住所、氏名、電話番号などを県人権啓発センター 〒640-8319和歌山市手平2-1-2和歌山ビッグ愛2階
☎073-435-5420 FAX073-435-5421
✉ sports@w-jinken.jp
和歌山県人権啓発センター
※小学生以下は保護者同伴

戦没者遺児による慰霊友好親善事業

本年度は18コース(各コースにより実施時期、申込締切日を設定)を令和3年3月まで実施
対: 対象地域で戦没された方の遺児
申・問: 郵送、電話で県遺族連合会 〒640-8146和歌山市一番丁3
☎073-424-5813

「紀の国わかやま文化祭2021」応援コンサート

数下将人&田頭宜和アコースティックライブ
時: 9月20日(日) 14:00～
場: 海南nobinos(海南市)
定: 100人 **先着順**
問: 和歌山県民文化会館
☎073-436-1331
和歌山県民文化会館

わくわく!統計アカデミー for KIDS

総務省統計局主催の統計学を学べるWEBセミナー
※インターネット環境に接続可能なパソコンやタブレットなど必要
時: 9月19日(土) 13:00～16:00
対・定: 小学5・6年生 30人 **抽選**
申・問: インターネットで9月11日17:00までに(株)Rejoui
☎03-6276-3160
わくわく!統計アカデミー



「紀の国わかやま総文2021」300日前大会PRイベント

高校生による文化部舞台発表や作品展示
時: 10月11日(日) 13:00～15:00
場: イオンモール和歌山(和歌山市)
問: 県教育庁全国高総文祭推進室



観光ゼミナール

魚さばき体験
時: 10月25日(日) 13:00～16:30
場: 日高町公民館
対・定: 小学5年～中学3年生 20人 **抽選**
費: 500円(材料費、保険料)
申・問: FAX、Eメール、インターネットで所定の申込書(申込先、WEBサイトで配布)を10月12日までに日高振興局企画産業課
☎0738-24-2911 FAX0738-24-3312
✉ e1305161@pref.wakayama.lg.jp
紀中を巡る



10・11月開始の職業訓練受講生

就職に有利な専門知識や技能を習得
科目: ①パソコン・簿記経理科(概ね40歳以上対象)②CAD・NC技術科③OA事務・Web科④介護初級科⑤パソコン・簿記事務科⑥OA事務・Web科⑦パソコン・総務経理事務科⑧介護初級科⑨OAビジネス科(障害者対象)
場: ①②和歌山市③岩出市④橋本市⑤御坊市⑥～⑨田辺市
申・問: ハローワーク(申込締切日あり)
※詳しくはWEBサイトを要確認
和歌山労働局 職業訓練

県住宅供給公社による宅地分譲

岸宮サニータウン(紀の川市)1区画の分譲価格を見直し
申・問: 9月16～25日に県住宅供給公社
☎073-425-6885
和歌山県住宅供給公社



まいつききんろうとうけいちょうさ
毎月勤労統計調査

①第二種事業所

5人以上を雇用する事業所の賃金や労働時間、雇用の変動を毎月調査しています。

調査対象事業所を把握するため、新型コロナウイルス感染症対策を行った統計調査員が9月に事業所を訪問しますので、ご回答をお願いします。

②特別調査の代替調査

例年8月から9月にかけて1～4人を雇用する事業所を対象に、給与や労働時間などを調査している特別調査が中止となり、代替調査が実施されます。昨年特別調査を行った事業所を対象に、厚生労働省が10月頃に郵送・オンラインで実施しますので、ご回答をお願いします。

問:県庁調査統計課



せかいじざつよぼう
9月10日は世界自殺予防デー
じざつよぼうしゅうかん
(自殺予防週間9/10～16)

ひとりでも多くの自殺者をなくすため、自分や悩んでいる人の心の健康やいのちの大切さについて考える機会です。ひとりで悩まずに誰かに話してみませんか。

自殺対策推進センター相談電話

「はあとライン」

(24時間365日対応)

☎0570-064-556

問:県精神保健福祉センター

☎073-435-5194

げんざい こくせいちょうさ
10月1日現在で国勢調査を
じっし
実施します！

○国勢調査とは

日本に住んでいるすべての人・世帯を対象とする日本で最も重要な統計調査です。9月中旬から調査員が各世帯に調査書類を配布します。

○新型コロナウイルス感染症対策を行っています

調査員はマスクを着用します。地域の実情に応じ、インターホン越しで説明するなどの対策を行ったうえで調査を実施します。

○インターネット回答にご協力を感染予防のため、できる限りインターネット回答をご利用ください。

問:県庁調査統計課



あんしん のうぎょうけいえい
安心の農業経営を！
のうぎょうしゅうにゆうほけん
農業収入保険

自然災害や価格低下等あらゆる収入減少のリスクに対応できる農業経営収入保険に加入しませんか。青色申告が1年以上ある農業者が対象で、平均収入の8割が確保されます。収入が下がった場合には「つなぎ融資(無利子)」も利用でき、営農資金に充てることができます。※詳しくは要問合せ

問:県農業共済組合

☎073-436-0771

県庁経営支援課



ぞん えんかくがいらい
ご存じですか?「遠隔外来」

テレビ会議システムを利用して、地域の病院や診療所(県内23カ所)で県立医大病院の専門医からアドバイスが受けられます。対象となる診療科など、詳しくはWEBサイトをご覧ください。

問:県立医大地域医療支援センター

☎073-441-0845

遠隔外来



わかもの
若者サポートステーション
ウイズ ユー
With Youわかやま移転

困難を抱える子供や若者、そのご家族からの相談を受け付ける窓口が9月1日から移転しました。

移転先:和歌山市本町1-22 Wajima
本町ビル4階

☎073-428-0874

問:県庁青少年・男女共同参画課

若者サポートステーションわかやま



みず みらい
きれいな水を未来に！

9月10日は下水道の日

10月1日は浄化槽の日

きれいな水を未来に残すため、ご家庭やお店の汚水を下水道につないだり、合併処理浄化槽を入れたりしましょう。下水道の接続や合併処理浄化槽へ転換する際には助成制度がありますので、お住まいの市町村へお問い合わせください。

問:県庁下水道課

もよお
今月の催し

青字施設

は65歳以上、障害者、高校生以下、外国人留学生などは入場無料

展は展示

赤字施設

は入場無料

イはイベント

けんりつ きんだいびじゅつかん
県立近代美術館
☎073-436-8690 FAX073-436-1337
〒640-8137和歌山市吹上1-4-14
9:30～17:00(入館は16:30まで) 休館/月曜(祝日の場合次の平日)

展 特別展「もうひとつの日本美術史-近現代版画の名作2020」 9月19日(土)～11月23日(祝)

展 企画展「和歌山県立近代美術館 コレクションの50年」 9月19日(土)～12月20日(日)

けんりつ はくぶつかん
県立博物館
☎073-436-8670 FAX073-436-6643
〒640-8137和歌山市吹上1-4-14
9:30～17:00(入館は16:30まで) 休館/月曜(祝日の場合次の平日)

展 企画展「喜多村進と徳川頼貞-南葵音楽文庫をめぐ
るひとびと-」 9月19日(土)～10月4日(日)

けんりつ しぜん はくぶつかん
県立自然博物館
☎073-483-1777 FAX073-483-2721
〒642-0001海南市船尾370-1
9:30～17:00(入館は16:30まで) 休館/月曜(祝日の場合次の平日)

イ 家族で体験、夜の水族館 10月10日(土) 15:00～17:00、19:00～21:00

対・定:3歳以上の子供とその家族 20人 抽選

イ 干潟の生物観察会 10月17日(土) 10:00～13:00

場:内之浦干潟公園(田辺市)

対:小学生以上(小学生は保護者同伴)

定・申:30人 抽選 10月3日まで

イ 川原の石の観察会 10月18日(日) 13:00～15:00

場:紀の川河川敷(紀の川市)

対:小学生以上(小学生は保護者同伴)

定・申:15人 抽選 10月4日まで

けんしよくぶつこうえんりよつか
県植物公園緑花センター ☎0736-62-4029 FAX0736-63-2570
〒649-6211岩出市東坂本672
9:00～17:00(入館は16:30まで) 休館/火曜(祝日の場合次の平日)

9月の花ごよみ

ダリア、サルビア・
レウカンサ、タイ
タンピカス、スイ
フヨウ、コスモス



ダリア



サルビア・レウカンサ



タイタンピカス



スイフヨウ



コスモス

けんりつ としょかん
県立図書館 ☎073-436-9500 FAX073-436-9501
〒641-0051和歌山市西高松1-7-38

けんりつ きなん としょかん
県立紀南図書館 ☎0739-22-2061 FAX0739-22-4773
〒646-0011田辺市新庄町3353-9
(県立情報交流センター Big・U内)

いずれも9:00～19:00(土日祝は18:00まで)
休館/月曜(祝日の場合次の平日) 毎月第2木曜

※今月の催しはありません。

けんりつ きい ふどき おか ☎073-471-6123 FAX073-471-6120
〒640-8301和歌山市岩橋1411
9:00～16:30(入館は16:00まで) 休館/月曜(祝日の場合次の平日)

展 秋期特別展「埴輪が語る古墳の祀り」 10月3日(土)～12月6日(日)

イ 秋期特別展 特別展講座① 10月11日(日) 13:30～15:30

対・定・申:小学生以上 30人 先着順 9月25日13:00～

イ 紀伊風土記の丘ボランティアの会シンポジウム
～ 10周年記念のシンポジウム～ 10月18日(日) 13:00～16:00

対・定・申:小学生以上 15人 先着順 10月1日13:00～

かたおなみ こうえん
片男波公園 ☎073-446-5553 FAX073-446-5554
まんようかん けんこうかん
万葉館・健康館 〒641-0022和歌山市和歌浦南3-1700
9:00～17:00(入館は16:30まで)

展 企画展「和紙ちぎり絵展」 9月10日(木)～11月15日(日)

※マスク着用のご協力をお願いします。

イ 万葉学習セミナー「万葉集入門」
(全3回) 9月27日(日)、11月3日(祝)・29日(日) 14:00～15:30

対・定:中学生以上 各10人 先着順

費・申:500円/回 事前申込



けんどうぶつ あいご
県動物愛護センター ☎073-489-6500 FAX073-489-6504
〒640-1251紀美野町国木原372
10:00～17:00 休館/火曜

イ 犬・猫の飼育講習会

①9月5日(土)・13日(日)・19日(土)・25日(金)・27日(日)、10月11日(日)・16日(金)・25日(日) 11:00～

②10月2日(金) 11:00～

場:①県動物愛護センター②新宮保健所串本支所

※譲渡を受けるには受講と、犬については狂犬病予防ワクチン接種代2,700円が必要です。

※県動物愛護センターでは譲渡会を常時開催しています。

イ 飼育体験教室&獣医師体験教室

10月4日(日)・31日(土)、11月15日(日)

①飼育体験9:00～11:30②獣医師体験13:30～16:00

対:①小学4年～中学3年生②小学5年～中学3年生

(①②保護者同伴可)

定・申:各4人 抽選 9月18日まで

なんき くまの
南紀熊野ジオパーク ☎0735-67-7100 FAX0735-67-7191
センター 〒649-3502 串本町潮岬2838-3
9:00～17:00

イ 石の中にも宇宙が見える!?
～顕微鏡で岩石プレパラートの観察会と展示～

①観察会 9月19日(土) 14:00～15:00

定:40人 先着順

②展示 9月20日(日)～10月18日(日)

広報課からのお知らせ



テレビ

テレビ和歌山 WTV

きのくに21 日曜 9:30・(再) 18:30

9月 6日 「紀の国わかやま総文2021」の開催に向けて

9月13日 和歌山県立医科大学薬学部

9月20日 わかやま空き家バンク

9月27日 知事と語る

県民チャンネル

月・火・木・金・土曜 21:55

マンスリー県政 ニュースワイド

毎月最終金曜 19:30



ラジオ

和歌山放送 WBS

県庁だより 毎日 11:40・(再) 18:00

※土・日曜は再放送がありません。

ラジオでお届け!県政最前線 火曜 15:40

放送内容・時間は都合で変更する場合があります。



紀の国わかやま文化祭2021

第36回国民文化祭・わかやま2021 第21回全国障害者芸術・文化祭わかやま大会

令和3年10月30日(土)~11月21日(日)

広報キャラバン隊発足!

「紀の国わかやま文化祭2021」の広報活動をいよいよ本格的に始動!!

お笑いコンビ「すみたに」を中心とするキャラバン隊メンバーと、マスコットキャラクター「きいちゃん」が県内各地をラッピングカーで走りまわり、イベントなどで本文化祭のPRを行います!

また、3つのプロジェクトである、きいちゃんを折り鶴で模った「折り鶴プロジェクト」、学校などに出向いて文化体験を行う「出前体験プロジェクト」、県内を公式ポスターで染める「ポスター 2021プロジェクト」も実施しますのでぜひお楽しみに!



問 第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山県実行委員会事務局
☎073-441-2417 FAX073-423-7120

紀の国文化祭

知事メッセージ

県民の皆様へ

難しい判断



コロナのために世界中が痛めつけられています。今の世の中は相互依存関係の中で成り立っているため、世界中の感染が収まらないと日本も安心できないし、和歌山も安心できません。その安心というのはコロナにかからないというだけではありません。経済も生活もそうで、特に観光の分野への影響は深刻です。コロナの直前までは、近年官民を挙げて再生に努力してきた結果がようやく実り始め、インフラも改善し、ホテルの耐震や改修も進み、県内各観光地の名声も高まり、特に外国の旅行メディアで和歌山No.1という評価が3年連続で続きました。さらにIT誘致、ワーケーション、ロケットとヒットが続いて、数字も上々でありましたが、コロナでガタガタです。

しかし、この騒ぎの中で、我々は段々と分かってきました。先進他国と比べ、日本は感染症法の仕掛けと保健所があるんだから、そちらが頑張っている限り行動・営業自粛に頼りすぎなくてもよい。あまり神経過敏になりすぎると国民生活も、経済も自滅してしまう。特に他への依存度の高い和歌山県はそうだとすることを。

だから、行政の責任者としては、言うのに勇気がいりますが、8月4日現在では、「これからはコロナは必ず出ると思いますが保健医療行政で必死に破局は防ぐので、安全には気を付けながらも少し平常心を持って、仕事に学業に励みましょう」と言うことにしています。

ひょっとしたら、チャンスがあるかもしれないのです。外国人の観光客は当分期待できないが、その消費額は日本人の海外旅行の消費額とほぼ同じ、また、コロナであの岩盤のように強固であった東京一極集中が崩れて、地方にもチャンスがあるかもしれません。とはいえそんなこと言っても、コロナを持ち込まれたらどうするんだという疑念と批判におびえながら、いつも難しい判断に迫られています。

和歌山県知事 仁坂 吉伸

【広告】 県収入の一部とするため有料広告を掲載しています。県庁広報課 ☎073-441-2032



手話表現紹介動画はこちらから



総合評価値 80

・古紙パルプ配合率
※残りは、その他の持続可能性をめぐしたパルプを使用
・塗工量

70%以上
30g/ml以下

リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙でリサイクルできます。